

無事に防災フェスタ終了



▲防災劇の様子

11月1日、秋晴れのもと久間田公民館を会場に“久間田防災フェスタ2020”が、スタッフを含め118名の参加で開催されました。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止ということから、参加の呼びかけも例年より控え、参加者やスタッフの検温やマスクの着用、手指用の消毒液の設置など、十分な対策をとったなかでの開催となりました。

このイベントは、久間田地区住民に日頃から防災意識を持ち、災害に備えることの

大切さを啓発することを目的に、久間田地域づくり協議会の主催で、3年目の開催となります。

主催者を代表して地域づくり協議会の有安会長から「今年はコロナ禍で防災フェスタを開催するかどうか、会議の中で協議をしてきました。しかし、災害は突然訪れるものであり、事前に備えておくことが大切であるという意味から、開催に踏み切らせていただきました」とあいさつがありました。

その後、参加者は案内係の先導で、それぞれのブースに分かれ、防災劇や天ぷら油火災消火の見学、放水訓練、救急法体験、防災グッズの紹介など、防災にかかる様々な体験や見学をしました。

参加者からは、「毎回変化があり、覚えることも増えるので、毎年参加することに大きな意味がある」「放水訓練や救急法など、以前から体験したいと思っていた内容が体験できて非常に良かった」などといった声が聞かれました。

防災フェスタの企画から準備・運営まで担った地域づくり協議会の地区自主防災部では、後日会議を開き、反省点などをまとめ、来年度につなげていきたいと考えています。

